

2022年7月7日

帝国繊維 鹿沼工場の新棟に再生可能エネルギーを導入

帝国繊維株式会社
芙蓉総合リース株式会社

帝国繊維株式会社（代表取締役会長：白岩強、東京都中央区、以下「帝国繊維」）と、芙蓉総合リース株式会社（代表取締役社長：織田寛明、東京都千代田区、以下「芙蓉リース」）は、太陽光発電によるグリーン電力購入契約（以下、PPA*¹サービス）を締結しましたのでお知らせします。

今回締結したPPAサービスは、芙蓉リースが帝国繊維の鹿沼工場（栃木県鹿沼市）の屋根に約545kWの太陽光発電設備を設置、太陽光により発電したグリーン電力を帝国繊維が製造工程で活用し、電力使用量に応じた料金を芙蓉リースに支払うというものです。

（サービスイメージ）



帝国繊維鹿沼工場では、消防用や消火栓用ホース等、各種ホースを生産しています。現在、今後需要の増加が見込まれる大量送排水用ホース生産の為の新ライン建屋の建設を進めており、今般、PPA サービスで導入する太陽光発電設備は、同ライン建屋の屋根を活用して設置されるものです。

帝国繊維は、中期経営計画「帝国繊維（テイセン）2022」において、多発化・激甚化する自然災害・気候変動による脅威から社会や事業の安心・安全を守ることを目標に掲げて、防災事業の更なる拡大、充実を目指しております。防災事業の中核を担う鹿沼工場では、ISO14001を取得し、CO2の低減、省資源、省エネルギー、リサイクルを通じて、環境保全と汚染防止に継続的に取り組んでおり、帝国繊維は、PPA サービス導入により脱炭素社会に向けた取り組みを一層加速してまいります。

芙蓉リースグループは、2022 年度からスタートした新中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとしての持続的な成長を目指しております。「エネルギー環境」事業においても、PPA サービスの提供のみならず、再エネ化・省エネ化に取り組むお客様への様々なソリューションの提供とファイナンス面でのサポートを進めてまいります。

帝国繊維グループ並びに芙蓉リースグループは、これからも再生可能エネルギーの活用をはじめとする脱炭素社会の実現に資する様々な取り組みを推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■太陽光発電設備概要

設置場所	栃木県鹿沼市府所本町 197 番地
サービス提供開始予定	2023 年 6 月
出力規模（モジュール容量）	544.68kW-dc ^{*2}

(*1) Power Purchase Agreement（電力購入契約）の略

(*2) dc(direct current)、直流電流を指します。

以上

報道関係の方からのお問い合わせ先

帝国繊維（株）経営企画部

Tel：03-3281-3021

芙蓉総合リース（株）コーポレートコミュニケーション室

Tel：03-5275-8891